

県原水協が69行動



6日の69行動は、香川原水協が行動を開始して54年目になる節目の年となりました。参加者は岸田外相（2014年当時）の核抑止力行使の発言や、各兵器禁止条約への態度を批判すると同時に、この条約に日本が

93歳の男性が署名に同意し、これ等のことを説明すると「それなら」とカンプも申し出ました。

香川県原水協は1日の会議で、TPNW締約国会議までの4か月で、1万筆の署名をとること、そのために各組織の自己目標を積み上げることが決定しました。

故郷は原発を許さない

金曜行動が19日に取り組み、参加者は「故郷は原発を許さない」などを歌い、速やかな廃炉を求めました。フリーマーケットでは「明日はない原発もうやめろ」「福島原発の汚染水を海に流すのはおかしい。他山の石では

ありません。きれいな海で末永く泳ぎたい。子孫に残したい」など、また、伊方原発再稼働差し止めの不当判決への思いや避難者裁判勝利判決への思いが語られました。

三越前ではスタンディング行動しました。

民主香川

定価 月 100円
発行所
民主香川社
高松市藤塚町
3丁目13-14
☎(087)834-7311

6の日行動 市民連合が朝宣伝

安保法制廃止と改憲の動きを止めようと、「市民連合@かがわ」は19日、高松市の駅前で行った朝宣伝活動。

瓦町駅前では秋山時貞県議、立憲民主党の吉峰幸夫市議、市民派の植田真紀市議、戦争させない香川1000人委員

会の廣瀬透氏がリレートーク。「市民と野党の共同で小川淳也衆院議員を勝利させた。野党共闘の内容を充実させたい」

「改憲の動きを、自公政権や維新の会が見せているが、コロナの救済策こそ急がれる」などの思いを訴えました。

秋山氏は5兆円を超えた軍事費に対し、くらし、営業、教育予算が削られていることを指摘し、「税金の使い方を変えるべきだ」と迫りました。また維新の会などが改憲を求め、憲法改正を止める草の根の世論を広げたい」と呼びかけました。

JR高松駅前では日本共産党の岡田まなみ市議が訴えをしました。



高松東バイパス沿いの遺跡 49

林地区の遺跡V 弥生の土人形

末光 甲正



(資料・香川県教委)

これまでは、昔の人たちが手足や体を動かして木や石や土の上に形を残した遺跡や遺物の話をしてきました。しかし、その頃の人々の心の中がどうであったか、心の動きを物語るものについては、墓の作り方等のわずかな手掛りから想像する他にこれと言ってありません。

遺跡から出る遺物でも、衣食住、体に着るもの、食べるもの、住む家以外の、日常生活に直接の関係がなさそうに見える物事。

例えば、現在でも、それがなくても生活出来るが、あれば心に潤いや安らぎが出来るという物に、音楽を聞いたり、絵とか彫刻を鑑賞、家に飾ったりするなど。また、大金をかけてチョウウサを作ってお祭り、とかも

古代の人たちも、これに似たことをやったのではないだろうか。また、それを想像させる遺物も発掘されています。

日本では、縄文時代人はほとんど絵は描かず、物の形をそのまま粘土でかたどる焼物の土人形（土偶（どぐう）や土のお面を作っています。しかし、物の形を平らな板や紙に当時、紙はありませんがIIの上に写しとる事、絵を描く例は見られません。

一方、弥生の人たちは、彫刻や人形等、立体的なものにはあまり造らず、土器、特に壺をつくる時、その表面がまだ生乾きのうちに申のような物で絵を描きつけている例をみかけます。

勿論、現在のように絵そのものを鑑賞するというより、その絵を何かのお祈りに役立てるためとみられます。特に、弥生時代の中頃、あの川添・久米池南遺跡が

平成五（一九九三）年度の空港跡地発掘で、旧空港入口駐車場の東側、傘の骨の様なIFR局のアンテナ等があった地下に、幅一・六メートル、深さ四〇センチ、西へ流れる溝跡がありました。その溝から、その時期（弥生終末期）の例では「日本初の土人形」が、六人分もまとまって出てきたのです。

大が六〜七センチで四体、小

現した頃、それが盛んだったようです。久米池南の土器は別に述べますが、弥生から古墳時代への変り目の時期に、日本でもあまり例がない、林の空港跡地で見つかった、土人形を見てみたいと思います。

さいのが四〜五センチで二体。頭が丸い三人が女性、額に瘤のような物がある三人が男性でした。頭だけで男女の区別は分りませんが、三人は下半身に粘土を引っ張り出した所があり、他の二人は尖った穴を開けた跡がありました。残る一人は、下半部が切れて不明。裾はスカートを広げたようではありませんが。アニメのオバQの姿。同じ場所でも、こんな土人形が六体も出たので、何か意味があるに違いないと思います。発掘した県の担当者は、木や石や土で造った、弥生時代から平安時代までの、たくさんの人形と比較。祖先を祭ったり病気や災害のお守りの例があるなど紹介。弥生時代に当る頃の中国で、新春正月に、これから作物を作るため耕し初めようとする時、男女の土人形を造って春を呼ぶ宴会をやった、との記録をヒントに出しています。

千七百年前の林の正月。新春を迎え、秋の稔りを祈った土人形だった？

この土人形は非常に珍しいので、各地の展示に巡業することもあります。

第4回中央委員総会のお知らせ

27日土曜日から2日間、4中総が予定されます。冒頭の幹部会報告は党内通信で全国放送され、党ホームページ



（QRコードを参照）

（資料・香川県教委）

高松で学生支援

日本民主青年同盟香川県委員会は20日と26日に、高松市で学生支援を行いました。お米や乾麺、バナナなどが並びました。

受け取りに来た学生はアンケートにも思いをつづり、「バイトのシフトが減った」「オンライン授業で出される課題が多い」「実家に帰省していいものかどうか不安だ」などの思いをつづっていました。

また、無料塾や子ども食堂の手伝い、ブラックバイトの実態調査、生活相談会などを一緒にやりたいという学生もいました。

藤沢直人委員長は「試験期



間で取りに来る人は少なかったが、まだ必要とする人はいる。ヒラを見てくる人もいて、まだまだ続けた」と話しました。

異台教太

「山もゆるる秋」、紅葉まつ盛りの季節。先日、「しんぶん赤旗」一面に水面に映る紅葉の美しい光景と絵解きに「水の上にも織る錦」とあった。それも間違いではない。もし「童謡」も「民謡」の歌詞からの引用なら「谷の流れに散り浮く紅葉、波に揺られて離れて寄って…」（略）水の上にも織る錦」だ。水に浮く紅葉なのになあ

と「桜紅葉」も親しまれてきたが今年はいま見られない。10月末までには葉が紅葉する前に散ってしまった。近所の人と「どうしてかね」と話していたら「温暖化の影響だろう」と。豪雨、酷暑はおろか、生態系にも深刻な影響が出ているのかと改めて危機感をもった▼「温暖化対策は今後10年が決定的」と言う中でのCOP26。石炭火力発電の段階的削減加速、各国の温室効果ガス排出目標強化を呼びかける成果文書を採択して閉幕。途上国を中心に「不満だが妥協」という総会になった。島しょ国シーシェルのラムカラワン大統領は「温暖化による海面上昇は恐怖だ」と。ブラジルの環境活動家チャイ・スライさんは「川は死に絶え、花は昔のように咲かない。私たちに時間はないうと地球が語っている」と発言▼日本は世界で最も不名誉な「化石賞」を受賞。なのに恥じらいもなく岸田首相は、石炭火発について「石炭に水素とアンモニアを混ぜて燃やす石炭火力事業をアジアで展開する」と発言。それは気候変動の解決にはならないと笑われる▼日本共産党は「2030戦略」で石炭火発、原発ゼロ、省エネ、再エネ普及で最大60%削減を提案。野党共通政策でも「原発のない脱炭素社会を追求する」を確認。一大国民運動に発展させよう。